



鳥栖っ子

合言葉

～「つなぐ」～

コミュニティスクール

鳥栖市立 鳥栖小学校

文責 校長 古賀 康弘



“手と手をつなぎ 心をつなぎ” みんなで助け合う みんなの笑顔のために



○『感謝の集い』開催！寄せ植えの花鉢をお礼に○

2月13日(火)に、子供たちや鳥栖小が日々お世話になっている地域の方を学校にお招きし、感謝の思いを伝える「感謝の集い」を開きました。昨年度3年ぶりに開催したこの会ですが、今年度は、体育館に地域の方、全児童、教職員が集って開催することができ、本当に嬉しく思いました。

『感謝の集い』には、子供たちのことを大切に思い、各地区や学校等でお世話をさせていただいている区長さん、学校運営協議会の皆さん、民生委員さんをはじめ、子供たちの大切な命を守るために、毎日見守りをしていただいている交通指導員さん、子供見守り隊の皆さん、子供たちに本の楽しさを伝えようと読み聞かせをしていただいている「にこにこライオン」の皆さんが参加されました。ご事情があつて学校に来られなかった方もたくさんおられました。集いでは、子供たちが寄せ植えした花鉢を渡したり(写



真)“ありがとうの花”の合唱をしたりしました。私から子供たちには、「人は、一人では生きていくことができませんね。たくさんの人に出会い、支えていただきながら生きていけるのです。その事だけは忘れないようにして、支えていただいているみなさんに、いつでも“ありがとう”の気持ちを伝えられるようになってほしいと思います…」と話しました。集いの後、参加された方から「とても感動しました」とお言葉をいただきました。地域の方々と子供たちや学校を『つなぐ』、素晴らしい集いとなりました。

○ 思いつながる『6年生ありがとう集会』 ○

鳥栖小では、2月22日(木)の2、3校時に『6年生ありがとう集会』を行いました。昨年までと違い、保護者の方々にも参観していただけるように案内をしました。集会の見どころは、何といても感謝の気持ちを届ける各学年の出し物です。まず、集会委員会の司会者のアナウンスで、本日の主役の6年生が入場し、5年生から順に出し物を披露していきました。合奏や歌、ダンスに寸劇と、どの学年も工夫を凝らした、心に届く出し物ばかりでした。たくさんの「ありがとうの花」が咲き、胸が「きゅん」と温くなる感動的なステージでした。最後に6年生がお礼の出し物を披露し、会を締めくくってくれました。

私からは、次のような話をしました。「『おめでとう。ありがとう。』など相手を思いやるたくさんの優しい言葉がこの体育館じゅうにこだまし、それぞれの思いがつながる素晴らしい会となりました。(中略)小学校でのたくさんの思い出を胸に、4月からは中学生として、新たな目標や夢に向かって一步一步進んでください。鳥栖小のみんなで心から応援しています。(中略)今日は、心温まる『6年生ありがとう集会』を見ることができて校長先生は幸せでした。保護者の皆様も先生方も同じお気持ちだと思います。ありがとうございました。」



6年生の出し物の様子

【お礼】1月24日(水)～1月31日(水)、鳥栖小学校「標準服のあり方」に係るアンケートを行いました。お忙しい中、280件の回答をいただきありがとうございました。2月19日(月)に行った学校運営協議会で結果を提示し、今後、検討していくことにしました。鳥栖小HPにも結果(自由記述含む)を掲載します。ご覧いただければ幸いです。